

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.23 February 2010

第14回先端科学技術シンポジウムに参加～平成21年度第7回研究会

1月28日(木)～29日(金)

当会では標記シンポジウムを後援し、会員向けガイド;分野(主要キーワード)別のガイドでプログラムの概要を初めて案内しました。第7回研究会は、同シンポジウムにおける振興会セッションとして下記の内容で開催し、会員を始め同シンポジウム参加の多くの方々にパネル展示をご覧戴きました。

先端機構傘下における一年間の研究成果の集大成としての同シンポジウムは回を重ねるごとに盛況となり、今回は延べ1,000人のご参加を得て開催されました。

1. 日時 平成22.1.28(木)、29(金) 各日とも10:00～17:00
2. 場所 関西大学100周年記念会館 第6会議室
3. 内容 パネル展示・セッション【H21年度当会の研究会、「関西大学理工学国際シンポジウム2009」(8月、本学で開催)に対する支援・参加、振興会寄附講座、表彰事業】



平成21年度第8回研究会を開催 2月27日(土)

第8回研究会は当初計画を変更して、システム理工学部 北嶋弘一教授が日本工学会のフェローに認定された記念の講演会として開催しました。日本工学会のフェローは、日本の主要な学会の推薦により選定され、今回、総会員65万人の中から36人が選ばれた荣誉ある称号です。参加者は、56名でした。

※北嶋先生の日本工学会フェロー認定は、前号でお知らせ

1. 「産学連携で微細バリ処理技術と微細加工技術の開発」

有限会社 大阪製作所 代表取締役社長 後藤 良一 氏

SUS材のドリル加工では、国内トップクラスの高アスペクト微小深穴加工技術、新JIS企画対応の低コスト、高品質を実現した微細バリ取り技術についての確かなものづくり技術、そしてミリ～ミクロン加工領域の超精密加工システム(精密マシニング加工技術と精密ワイヤー放電加工技術の融合)の構築を目指した挑戦的な技術開発について紹介、「チャレンジする町工場」を実感する講演となりました。

さらに、今後も産学官連携で技術力を向上させ世界に適用する中小企業を目指す必要性を説かれ、ものづくりに対する情熱と愛情が殻を破るエネルギーとなることを強調されました。



2. 「機械加工の高精度化・高能率化」

関西大学システム理工学部 教授 北嶋 弘一 氏

機械加工(切削、研削、研磨)において、製品のコンパクト・軽量、緻密・高性能、高品質に対する志向に伴い、製品に組み込まれる部品も微細・複雑形状化しつつ高精度化への要求が強くなり、生産・製造現場において高精度化、マイクロ化などに対応する加工技術が求められています。機械研磨加工技術の最新の技術的動向に関して、ラッピングフィルムによる研磨、磁気研磨、バレル研磨、複合粒子研磨、ショット研磨、機能流体(磁性流体、電気粘性流体)研磨、粘弾性流動研磨など系統だっただけ加工法および加工事例が詳しく紹介されました。

独創的な新技術よりも既存の技術を進化させた機械加工技術の多くの事例は、日本のものづくりの競争力の方向性を示唆する講演でした。



3 産学官連携の進行事例から—イノベーションを育む仕組みづくり



イノベーションが生まれるまでのプロセスは、筋の良い技術を育てる、市場への出口を作る、そして社会を動かす、の3つのステップが段階を追って積み重ねてはじめてイノベーションが生まれてきます。

産学官連携の実績の中から進行事例をイノベーションが生まれるまでのプロセスによる3つのイノベーションモデル、すなわち技術起点型、事業シナリオ起点型および社会問題起点型のビジネスモデルに分類しての紹介がありました。*先端機構 田中久仁雄コーディネーター

4 平成21年度 関西大学科学技術振興会 寄附講座「ものづくりの現場から基盤技術を学ぶ」実施報告

寄附講座は、平成21年度同様、製造業を担うものづくり企業から講師を迎えて、全14回のリレー形式の講義（「ものづくり学概論」と「会社経営とものづくり技術の開発」の2部構成）を通して、ものづくりの知識よりもものづくりを感じ取る本能を大切にもものづくりの本質を学ぶ機会となるような実践的講座を目指しました。今年度の新しい試みとして、ものづくりの現場を見学する企業見学を2回実施しました。受講者は、大学院理工学研究科大学院生の11名でした。

*先端機構 田中久仁雄コーディネーター

5 科学技術振興会の活動報告

科学技術振興会の主要な事業である研究会の活動実績を中心に報告しました。研究会は、計画通り合計8回を開催し、今年度新規に実施した研究会の概要は次の通りで、会員、研究員および大学院生・学生の多数の参加があり、良好な評価をいただきました。

- ①企業からは独自のものづくりを展開されている魅力的な経営者による講演と、その企業と連携・交流している研究員による講演の2部構成の研究会を企画し、計3回開催。
- ②科学技術振興会研究会の会社見学会と、先端科学技術推進機構研究会（リハビリテーション工学研究会）と連携して、同機構の研究部門別発表会との合同で見学企業（川村義肢株）において研究会を開催。
- ③文系学部（経済学部）の講師による講演と、企業から人づくりをテーマにした講演の2部構成の研究会を企画し、企業経営に関連した内容の研究会を開催。
- ④1泊2日の合宿研究会で、従来の企業見学に加えて見学先の企業の要望に応えたテーマによる、大学の教員にとる講演（出張講義形式）を開催。
- ⑤「学の実化賞」受賞者による記念講演と企業からの特別講演の2部構成の研究会を企画し、開催。

*先端機構グループ、振興会事務局 本多忠男



第8回；隅谷哲三会長



第8回；石川正司機構長



第8回研究会



合宿研究会；西本明生准教授

お知らせ

ミャンマーで初めて催された国際学会で関大旋風が

昨年12月4,5日にミャンマーの旧首都ヤンゴンで開催された第1回理工学国際学会では、**本学化学生命工学部長の田村 裕教授**が特別講演に加えて3分野での座長をこなし、その傍ら田村研究室でのポスドク（3人）との会食で旧交を温め、さらに彼らの将来について根回しするなど大活躍された。写真は、同教授が地元のヤンゴンテレビからインタビューを受けているところです。大変美人のアナウンサーで、さすがの田村教授も緊張を隠せないようでした。
*同学会に出席された戸倉清一社会連携部特別顧問から寄稿戴きました。



振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力して下さい

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University